

事業評価調査(目的設定、中間評価、事後評価) (評価年度:令和7年度)

政策	2 農林水産戦略					
目指す姿	1 農業の食料供給力の強化					
施策の方向性	③ マーケットに対応した複合型生産構造への転換					
事業名	きのこ栽培燃油等価格高騰対策支援事業			事業年度	R7	年度～
					R7	年度
部局名	農林水産部		課室名	園芸振興課		
チーム名	野菜・畑作・特用林産チーム					

1 事業実施の背景及び目的

栽培きのこ類の市場価格が停滞する中、燃油等価格高騰による生産コストの増加に伴い生産者の経営が圧迫され、生産量の減少が懸念される。生産資材及び燃油等経費の一部を助成し、生産者の負担を軽減することで、継続的な生産活動を支援する。

2 事業概要及び財源

(単位:千円)

	事業内訳	概要	令和7年度 予算額	令和6年度 決算(見込)額	最終年度 決算(見込)額
1	きのこ栽培燃油等価格高騰対策支援事業	きのこ生産者を対象に生産資材及び燃油等の経費高騰分に対し助成する。	33,370		
2					
3					
4					
5					
その他合計 ( 件)					
財源内訳		左の説明	33,370	0	0
国庫補助金	物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金		33,370		
県債					
その他					
一般財源			0	0	0

3 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

【指標Ⅰ】

指標名	菌床しいたけの生産量(t)【成果指標】									
指標式	菌床しいたけの年間生産量(系統分)									
出典	JA全農あきた生産販売計画									
把握時期	翌年度6月									
年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
目標a								3,349		
実績b							3,314			
b/a								0.0%		

【指標Ⅱ】

指標名										
指標式										
出典										
把握時期										
年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
目標a										
実績b										
b/a										

◎指標を設定することができない場合の効果の把握方法

①指標を設定することができない理由

②見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)

## 事業評価調書(目的設定、中間評価、事後評価)

(評価年度:令和7年度)

政策		2 農林水産戦略				
目指す姿		3 水産業の持続的な発展				
施策の方向性		③ 漁業生産の安定化と水産業のブランド化				
事業名		漁業経営安定化緊急支援事業		事業年度	R7	年度～
部局名		農林水産部	課室名		R7	年度
チーム名		調整・振興チーム				

## 1 事業実施の背景及び目的

国際情勢や円安の長期化などによりエネルギー価格が高騰した状態が続き、漁協や漁業者等の経営を圧迫していることから、漁協施設等の運用にかかる電気料金の一部や、推進機関の省エネ化に対して支援を実施し、経営の安定化を図る。

## 2 事業概要及び財源

(単位:千円)

	事業内訳	概要	令和7年度 予算額	令和6年度 決算(見込)額	最終年度 決算(見込)額
1	漁協経営安定化緊急支援事業	エネルギー価格高騰を背景とした電気料金高騰の影響を受けている漁業協同組合等の負担軽減を図る(製氷・貯氷施設や種苗生産施設など)。	2,200		
2	秋田の漁業省エネ化支援事業	電力や燃油等の価格高騰に対応するため、省エネ効果のある推進機関の導入により生産コストの低減を図る。	30,000		
3					
4					
5					
その他合計 ( 件)					
財源内訳		左の説明	32,200	0	0
国庫補助金	物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金		32,200		
県債					
その他					
一般財源			0	0	0

## 3 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

## 【指標Ⅰ】

指標名	事業計画の策定件数(件)【成果指標】									
指標式	推進機関に使用する燃料の1割以上の削減を目指す計画の策定件数									
出典	水産漁港課調べ									
把握時期	翌年度4月									
年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
目標a								40		
実績b										
b/a								0.0%		

## 【指標Ⅱ】

指標名										
指標式										
出典										
把握時期										
年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
目標a										
実績b										
b/a										

◎指標を設定することができない場合の効果の把握方法

①指標を設定することができない理由

②見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)